

2026年度 関西大学博物館春季企画展

近世大坂の 遊興文化

— 名所・芝居・花街を中心に —

2026.4.1(水)
→ 5.30(土)

関西大学博物館 特別展示室
(千里山キャンパス簡文館内)

開館時間 10:00-16:00(入館は15:30まで)
休館日 日曜日・祝日
※ただし、4月5日(日)、4月29日(水・祝)、5月17日(日)は開館
入館料 無料
主催 関西大学博物館、関西大学なにわ大阪研究センター

KANSAI UNIVERSITY
MUSEUM SINCE 1994
関西大学博物館
Kansai University Museum

上段作品:「初代片岡我当の猫間新太夫光美」 初代貞信 天保8年(1837) / 「天神祭十二時」 山含亭
意雅栗三善 晝鐘成画 文政期頃
中段作品:左から 「三代目尾上菊五郎二十五回忌追善摺物」 芳滝 明治6年(1873) / 「いた駒玉子披
露目摺物」 芳滝 幕末-明治初期頃 / 「島ノ内わり物 京喜きめ葉の羽衣」 初代貞信 天保7年
(1836)
中段背景:「浪華名所天保山勝景一覽」 岳亭春信 天保5年(1834)
※全て関西大学図書館蔵、部分掲載



ようこそ、天下の
“あそびどころ”へ

近世大坂の 遊興文化

— 名所・芝居・花街を中心に —

江戸時代の大坂では、士農工商といった枠組みを超えて文化が生み出され、そして享受され、長き平和と町人層の台頭により人々が楽しむことを目的とした「遊興文化」が発達しました。本展は、大坂の遊興について、名所、芝居、花街の3つの章で構成し、その豊かな文化を紹介します。

展示品は、関西大学図書館を中心に、関西大学なにわ大阪研究センター、関西大学東西学術研究所など、すべて本学に所蔵されている作品112点です。特に、図書館の所蔵品は、数々の展覧会に出品してきた大坂画壇の名品をはじめ、国文学研究資料館「国書データベース」にも登録されていない書籍や浮世絵、摺物や一枚摺なども多く、本展によってその存在を広く知っていただく機会となります。

なお、本展は、関西大学なにわ大阪研究センターにおける【公募研究班】「近世大坂の遊興文化と出版の研究—名所・芝居・花街を中心に—」（2024～2025年度）の研究成果を公表するものです。



2



1



3



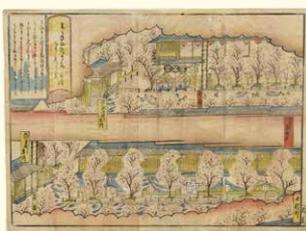
4



5



6



7



8



9

1 「諸大家合作風景図」 岡本豊彦・中井藍江・長谷川玉峰・松村景文・横山清暉 江戸時代/2 「浪花名所図屏風」 作者不詳 天保-嘉永期頃 関西大学なにわ大阪研究センター蔵/3 「浪華名所天保山勝景一覽」 岳亭春信 天保5年(1834)/4 「初代片岡我当の猫間新太夫光美」 初代貞信 天保8年(1837)/5 「初代美川延三郎の少将宗貞、五代目市川海老蔵の関兵衛、二代目中山南枝のすみ染」 初代貞信 嘉永2年(1849)/6 「三代目尾上菊五郎二十五回忌追善摺物」 芳滝 明治6年(1873)/7 「浪花新町之図」 三原亭春蝶 安政5年(1858)/8 「島ノ内ねり物 京喜きぬ葉の羽衣」 初代貞信 天保7年(1836)/9 「八幡屋小とら・ぶく披露目摺物」 玉園 幕末-明治初期頃 ※2以外はすべて関西大学図書館蔵

関連イベント

開催記念講演会

日 時: 4月18日(土) 13:00~16:00
会場受付は12:30から開始します。

会 場: 関西大学博物館
定 員: 50名(申込先着順)

参加費: 無料

申込方法: 2次元コードまたは関西大学博物館HPのお知らせページから。3月23日(月)9時より受付。



司会: 山本卓氏(関西大学 文学部教授)

講演1 大坂画壇と「淀川」

講師: 平井啓修氏(京都国立近代美術館 主任研究員)

講演2 『摂津名所図会』と幕末大坂の名所案内記

講師: 中尾和昇氏(奈良大学 文学部准教授)

講演3 大坂の芝居と花街—近世二大悪所の楽しみ方—

講師: 北川博子氏(関西大学 非常勤講師)



交通のご案内

関西大学千里山キャンパス
阪急千里線「関大前」駅下車徒歩10分